

主な調達希望物品 【 施設用品 】

ここでの品名とは、製品そのものを表していません。下位分類の品形が製品そのものになります。従って、品形数とは、1品名に何種類の製品（品形）があるかを表しています。製品の詳細説明は、1次審査通過後の打合せ時に、当社担当者よりご説明いたします。

品名、品形数：物品の分類 | 契約種別：単価表契約か確定契約か | 窓口：JR直接購入かJ商窓口物品か

コード	品名	詳細	品形数	見積照会時期	年間平均調達額 (千円)	契約種別	窓口
011-04	40Nレール		107		33,025	単価表	J R
011-05	50Nレール		100		1,055,695	単価表	J R
011-07	60レール		91		1,688,364	単価表	J R
012-01	中継レール	詳細	44		23,892	確定／単価表	J 商
021-01	犬クギ	詳細	24		61,410	確定／単価表	J 商
021-03	レール用ネジクギ		7		4,101	確定／単価表	J 商
022-01	異形継目板	詳細	74		56,786	確定／単価表	J 商
022-02	継目板	詳細	37		46,513	確定／単価表	J 商
022-03	継目板ボルト	詳細	31		22,918	確定／単価表	J 商
022-04	ロックナットワッシャ	詳細	8		2,802	確定／単価表	J 商
023-01	レール締結装置 (A)	詳細	59		9,477	確定／単価表	J 商

主な調達希望物品 【 施設用品 】

ここでの品名とは、製品そのものを表していません。下位分類の品形が製品そのものになります。従って、品形数とは、1品名に何種類の製品（品形）があるかを表しています。製品の詳細説明は、1次審査通過後の打合せ時に、当社担当者よりご説明いたします。

品名、品形数：物品の分類 | 契約種別：単価表契約か確定契約か | 窓口：JR直接購入かJ商窓口物品か

コード	品名	詳細	品形数	見積照会時期	年間平均調達額 (千円)	契約種別	窓口
023-03	タイプレート	詳細	52		80,568	確定／単価表	J商
023-05 024-10 025-05	締結用ボルト	詳細	177		119,862	確定／単価表	J商
023-99	その他締結用品		119		2,767	確定／単価表	J商
024-01	レール締結装置（B）		88		13,092	確定／単価表	J商
024-02	板バネ	詳細	203		243,859	確定／単価表	J商
024-03	埋込セン	詳細	4		1,166	確定／単価表	J商
024-05	軌道パッド（B）	詳細	59		110,662	確定／単価表	J商
024-08	締結用絶縁品		188		89,325	確定／単価表	J商
026-01 026-05	伸縮継目	詳細	245		31,995	確定	J商
026-02	伸縮継目用レール		405		33,067	確定	J商
026-03	伸縮継目附属品		405		18,073	確定	J商
027-02	脱線防止ガード（B）	詳細	39		33,905	確定	J商

主な調達希望物品 【 施設用品 】

ここでの品名とは、製品そのものを表していません。下位分類の品形が製品そのものになります。従って、品形数とは、1品名に何種類の製品（品形）があるかを表しています。製品の詳細説明は、1次審査通過後の打合せ時に、当社担当者よりご説明いたします。

品名、品形数：物品の分類 | 契約種別：単価表契約か確定契約か | 窓口：JR直接購入かJ商窓口物品か

コード	品名	詳細	品形数	見積照会時期	年間平均調達額 (千円)	契約種別	窓口
028-01	アンチクリーパ	詳細	18		4,776	確定／単価表	J商
031-02	橋マクラギ(A)	詳細	16		0	単価表	J商
031-13	分岐マクラギ		60		141,850	確定／単価表	J商
031-14	短マクラギ		67		4,944	確定	J商
032-01	PCマクラギ	詳細	106		982,099	確定／単価表	J商
046-11 046-12 046-28	基本レール		142		13,652	確定	J商
046-19 046-20 046-21 046-22	ガードレール	詳細	562		11,257	確定	J商
047-01	間隔材		189		15,432	確定／単価表	J商
047-04	座金		667		30,563	確定／単価表	J商

主な調達希望物品 【 施設用品 】

ここでの品名とは、製品そのものを表していません。下位分類の品形が製品そのものになります。従って、品形数とは、1品名に何種類の製品（品形）があるかを表しています。製品の詳細説明は、1次審査通過後の打合せ時に、当社担当者よりご説明いたします。

品名、品形数：物品の分類 | 契約種別：単価表契約か確定契約か | 窓口：JR直接購入かJ商窓口物品か

コード	品名	詳細	品形数	見積照会時期	年間平均調達額 (千円)	契約種別	窓口
047-05	床板		962		11,395	確定／単価表	J商
047-06	チョックボルト		358		26,035	確定／単価表	J商
047-09	分岐継目板		50		20,194	確定／単価表	J商
047-10	分岐タイププレート		678		10,708	確定／単価表	J商
047-99	その他分岐器用品		274		12,130	確定／単価表	J商
071-02	工事用車横取装置		34		7,230	確定	J商
071-12	踏切床板		31		13,426	確定／単価表	J商
071-13	フックボルト	詳細	1,113		45,707	確定／単価表	J商
071-16	バラストマット		2		14,398	単価表	JR
071-17	スラブマット		13		0	単価表	JR
071-33	防腐パッキン板		339		4,215	確定	J商
071-99	その他軌道用品		926		334,990	確定／単価表	J商

主な調達希望物品 【 施設用品 】

中継レール 物品コード：01201 | 品形数 44 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	<p>中継レールは、レール種別の異なるレールを相互につなぐ目的で開発され、種々のレール種別に対応するものが設計されている。</p> <p>種類としては、レール底部を加工した普通形と、80Sレールをガス圧接して作製する特殊形があるが、現在は普通形の投入が大部分を占めている。</p>		
種類	代表的品形		
	中継レール	(単価契約)	(確定契約)
		40N~37(10m)	50~37(10m)
		50N~40N(10m)	50~40N(10m)
		50N~50(10m)	60~50N(10m)
60~50N(10m)			
仕様	日本工業規格 中継レール E 1 1 2 2		
納入条件	各資材センター納入		

主な調達希望物品 【 施設用品 】

犬クギ 物品コード：02101 | 品形数 24 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	<p>犬クギは、レールの位置を、各種木マクラギの上で保ち、レールの浮き上がりを防止する為のクギとして最も単純で広く利用されている。</p> <p>犬クギは、その使用目的により、長さ・断面寸法が異なり、また刃のつけ方も異なる。刃はマクラギの木目に直交しているのが原則である。</p>	
種類	犬クギ	<p>角止釘 16×130mm</p> <p>角止釘 16×145mm</p> <p>丸止釘 19×130mm</p> <p>並一般用 130mm</p> <p>並Nレール区間用 130mm</p> <p>タイププレート一般用 145mm</p> <p>タイププレートNレール区間用 145mm</p>
仕様	日本工業規格 犬くぎ E1108	
納入条件	各資材センター納入	

主な調達希望物品 【 施設用品 】

異形継目板 物品コード：02201 | 品形数 74 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	<p>異形継目板は、断面形状の異なるレールを接続することを目的とするもので、高さの異なるレールの頭頂面を同高にするため、中央部付近に段を付けて、継目板の左右両半分は、それぞれのレール断面形状に合わせてある。このため普通継目板に比べ強度的に不十分であるので原則的に側線で使用する。</p> <p>この他に同種のレールであって摩耗量の異なるレールを接続するために中央部を2～8mm程度段差を付けた段違い継目板も規格化されている。</p>	
種類	代表的品形	
	異形継目板	段差用 50Nレール用2mm
		段差用 60レール用2mm
		段差分岐用40Nレール用2mm
		段差分岐用50Nレール用2mm
		特殊形 50N-40N
		特殊形 60 - 50N
		継目落用 50Nレール用2mm
継目落用 60レール用2mm		
仕様	<p>軌道用品類設計図集 (2) 「軌道用品類 (締結装置を除く)」</p>	
納入条件	資材センター納め	
物品概要図		

主な調達希望物品 【 施設用品 】

継目板 物品コード：02202 | 品形数 37 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	継目板（普通継目板）とは、定尺レール等をつなぐ場合に、レール腹部にボルトで取付ける板のことである。		
種類	代表的品形		
	継目板	50N用（焼入）	焼入37用
		60用（焼入）	焼入50用
		30用	40N用（焼入）
		37用	
50用			
仕様	日本工業規格 レール用継目板 E1102		
納入条件	資材センター納入		

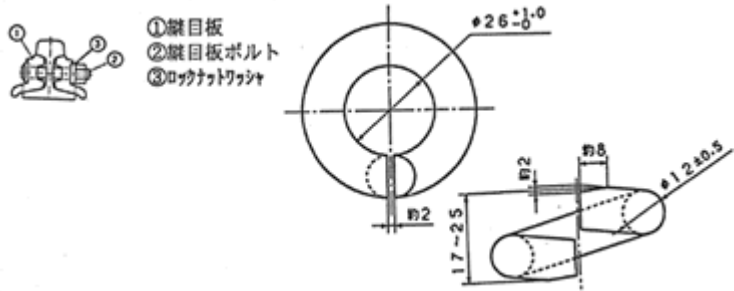
主な調達希望物品 【 施設用品 】

継目板ボルト 物品コード：02203 | 品形数 31 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	継目板ボルトは、継目板の支持力を十分に保たせるとともに、レールの伸縮を過度にさまたげないよう、適正な緊締度により緊締し、ゆるまないようにする。		
種類	継目板ボルト	30用	N形用
		37用	60用
		50用 甲	
		焼入30用	
		焼入37用	
		焼入50用 甲	
仕様	日本工業規格		
納入条件	資材センター納入		

主な調達希望物品 【 施設用品 】

ロックナットワッシャ 物品コード：02204 | 品形数 8 | 契約種別：確定/単価表契約

<p>用途・種別・目的</p>	<p>レールとレールの接続箇所を継目といいます。継目の一般的な形状は、継目板と継目板ボルトを用いて接続する構造であります。</p> <p>ロックナットワッシャとは、その継目板ボルトに適正な張力を与え、ナットを緩みにくくするために使用されるものです。</p> <p>日本工業規格（JIS）においては、「継目板用ばね座金（座金）」と規定されています。</p>
<p>種類 (1品形の場合は不要)</p>	<p>(1) 1号 30、37、40N、50N、50Tレール用</p> <p>(2) 2号 30、37、40N、50N、50Tレール用</p> <p>(3) 3号 30、37、40N、50N、50Tレール用</p>
<p>仕様</p>	<p>(1) 材質 JIS G 3506（硬鋼線材）のSWRH62A～82Bと定められています。</p> <p>(2) 硬さ ロックウェル硬さHRC40～46であります。</p> <p>(3) その他 日本工業規格「JIS E 1115」に明記されている規格を基に製造してください</p>
<p>物品概要図</p>	

主な調達希望物品 【 施設用品 】

レール締結装置（A） 物品コード：02301 | 品形数 59 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	レール締結装置（A）とは、左右のレールを木マクラギ等に締着させ軌間の保持を行うとともに、車両から軌道に作用する様々な荷重や振動に抵抗し、これらを下部構造のマクラギ、道床、路盤等に伝達するものである。		
種類	・37B形	・60B形	・50NB形パッド付2形
	・50B形	・50N形 本体のみ	・60B形 パッド付3形
	・40NB形	・50B形 パッド付2形	・60B形 パッド付4形
	・50NB形	・50NB形 パッド3形	・60B形 パッド付2形 幹
仕様	代表的品形		
	レール締結装置（A）	F形 50 改良形 一般用	
		H形 50N 継目用	
		在来 I 形 60一般用	
		橋上ロングレール用 I V形50N	
60 用 I 形 一般用（新幹線）			
納入条件	資材センター納め		
物品概要図			

主な調達希望物品 【 施設用品 】

タイププレート 物品コード：02303 | 品形数 52 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	タイプレートとは、レールとマクラギの間に挿入、敷設される鉄板（ショルダを有するものが多い）をいい、普通は構造用と同じ成分で、昔は鍛造でも製作されていたが、現在は長く圧延した後これを必要な幅に切って造られる。	
種類	代表的品形	
	タイププレート	B形37、40N一般用
		50E 一般用
		50F 形 改良形一般用
		H形 50N 継目用
在来 I 形 60統一形		
仕様	日本工業規格 上記以外の代表的仕様は物品概要図による。	
納入条件	資材センター納入	

主な調達希望物品 【 施設用品 】

締結用ボルト 物品コード：02305・02410・02505 | 品形数 177 | 契約種別：確定/単価表契約

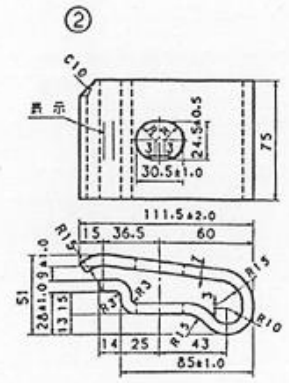
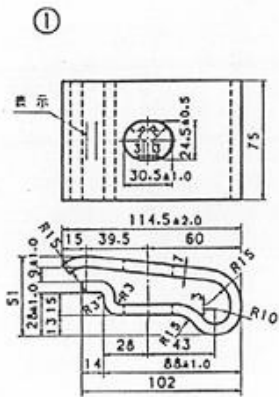
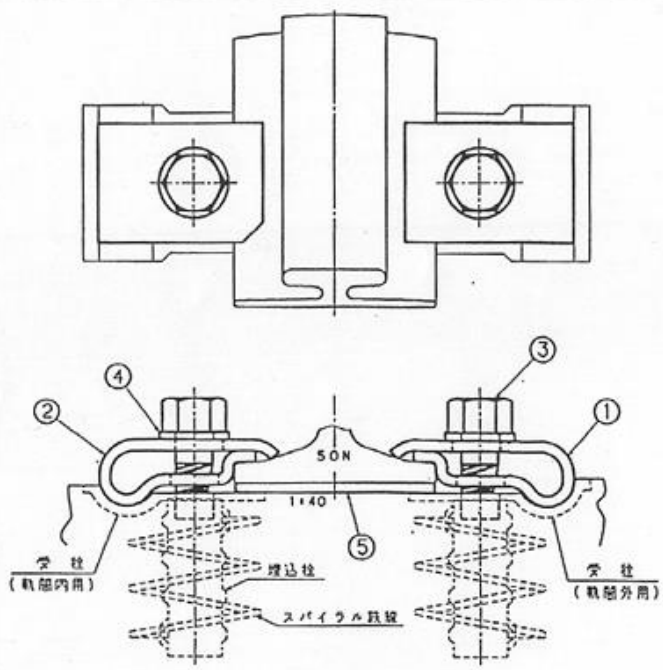
用途・種別・目的	レールとマクラギ等（タイプレート及びスラブ版を含む）を強固に固定しているボルトのことで以下の3種類がある。		
	木マクラギ用	締結用ボルト（A）	締結装置とタイプレートの固定
	コンクリートマクラギ用	締結用ボルト（B）	締結装置とマクラギの固定
	スラブ軌道用	締結用ボルト（C）	締結装置とスラブ版の固定
種類	<p>締結用ボルト（A） F形 50・50一般用ナット付・H形 50N 50T 継目用ナット付 新幹線用 I・II・IIIa 形ナット付</p> <p>締結用ボルト（B） 5形・9形・5N形座金付・102形・高速座金付 特殊形特殊区間座金付（亜鉛メッキ）</p> <p>締結用ボルト（C） 直結4形 六角ボルト座金付・直結8形一般ナット付 平座金付 直結8形継目用ナット付</p>		
仕様	<p>軌道用品類設計図集（1）「締結装置便覧」による。</p> <p>参考 締結用ボルト（B）は日本工業規格 E 1 1 1 8 に記載あり。</p>		
納入条件	資材センター納め		

主な調達希望物品 【 施設用品 】

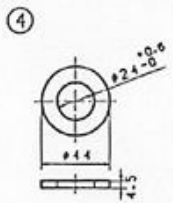
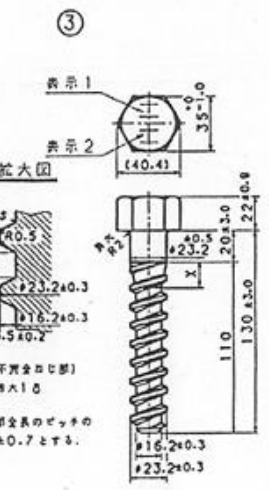
板バネ 物品コード：02402 | 品形数 203 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	板バネは、弾性を有する軌道パッドとともに二重弾性を構成する重要な部品の1つで板バネが用いられている。この板バネは、軌道パッドを常に圧縮状態に保つことにより耐久性を高め、さらに締結力によって生ずる摩擦力によりレールのふく進を防ぐ作用をしている。	
種類	代表的品形	
	9形50N用(大)	特殊形 特殊区間用・ケーブル防護用
	9形50N用(小)	5N形 50(大)
	9形60用(大)	5N形 50(小)
	9形60用(小)	5N形 60(大)
	特殊形 60 継目用(A)	5N形 60(小)
	特殊形 60 継目用(B)	102形 60用12mm
仕様	日本工業規格 PCマクラギ用レール締結装置 E1118	
納入条件	資材センター納め	
物品概要図	詳細はこちら	

訂正理由	訂正内容



表示
年号_L
年号_S
製造者記号



折ばね組合せ		軌道変位量 (mm)
標準レール	打創レール	
軌道外	軌道内	軌道外
小	大	+3.0
小	小	0
大	小	-3.0



おじ部分大図

X: (不完全な部分) 最大10
完全な部分のピッチの公差は±0.7とする。

表示内容
表示1: 製造業者名またはその記号
表示2: 製造年の記号 (西暦年号の末位2桁)
表示3: 個部の見やすい位置にN23と刻印する

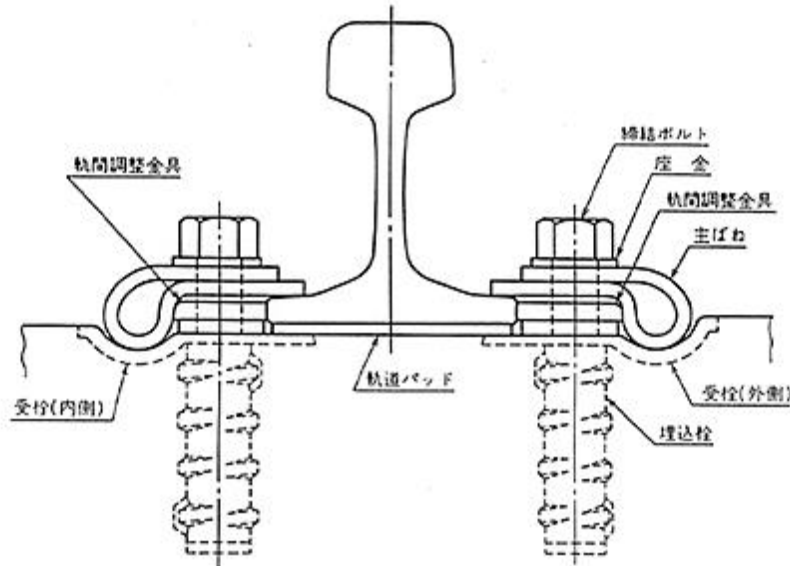
図号	品名	材質	数量	記号															
5	軌道バッド	SBR	1	50CN															
4	平圧金	SS400	2																
3	六角ボルト	SS400	2	高規格ボルト仕様															
2	折ばね (小)	SUP	1																
1	折ばね (大)	SUP	1																
<table border="1"> <tr> <td>名</td> <td colspan="4">5N形 50 - 附用</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td colspan="4">レール締結装置 (B)</td> </tr> <tr> <td>別</td> <td>JRSW 02401-</td> <td colspan="3">01AJ-05-1996</td> </tr> </table>					名	5N形 50 - 附用				種	レール締結装置 (B)				別	JRSW 02401-	01AJ-05-1996		
名	5N形 50 - 附用																		
種	レール締結装置 (B)																		
別	JRSW 02401-	01AJ-05-1996																	
西日本旅客鉄道株式会社 平成8年3月13日																			

主な調達希望物品 【 施設用品 】

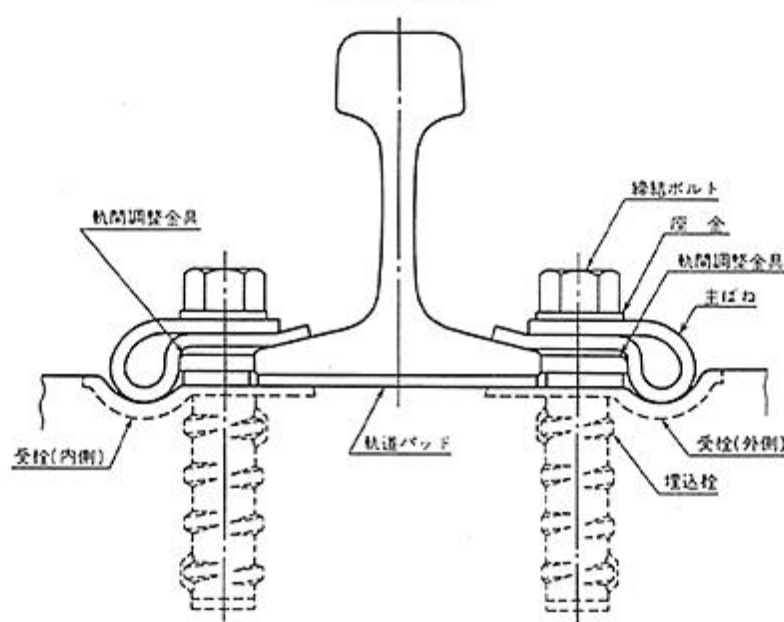
埋込セン 物品コード：02403 | 品形数 4 | 契約種別：単価表契約

用途・種別・目的	埋込センは、コンクリートマクラギ区間において、レールをマクラギに締結している締結装置とマクラギを固定しているボルトをコンクリート側で受け止めている樹脂性のことです。（コンクリートマクラギ中に埋め込まれている栓です。）
種類 (1品形の場合は不要)	補修用 新幹線用 補修用 3号5形 補修用 6号9形 7号10形 需要の多いのは3号5形です。
仕様	日本工業規格「J I S E 1 1 1 8」PCマクラギ用レール締結装置に明記されている規格を基に製造して下さい。
納入条件	納入箇所は、JR西日本エリア内「保線担当箇所」になります。
物品概要図	詳細はこちら

付図 1 5形 50



付図 2 5形 60



主な調達希望物品 【 施設用品 】

軌道パッド（B） 物品コード：02405 | 品形数 59 | 契約種別：確定/単価表契約

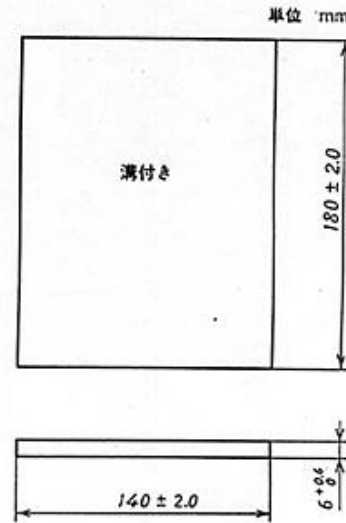
用途・種別・目的	軌道パッド（B）には2つの種類がある。1つはレール下に挿入するパッキン材、またはレール・マクラギ間、タイプレート・マクラギ間に挿入使用するマクラギ食い込み防止のためのもので、これを第1種軌道パッドという。もう1つは二重性弾性締結に用いられる緩衝用のもので、これを第2種軌道パッドの使用が大部分である。材質は合成ゴム	
種類	代表的品形	
	50C 2種6×125×180mm	新幹線60用（高速形）
	5S形用 2種6×140×180mm	新幹線60用 2種
	特殊形特殊区間用 50N 2種	
	特殊形 継目用 2種	
	特殊形 継目用 50N 2種	
	新幹線・特殊形用 60 2種	
仕様	日本工業規格 緩衝用軌道パッド E1118	
納入条件	資材センター納め	
物品概要図	詳細はこちら	

付図 18 軌道パッド

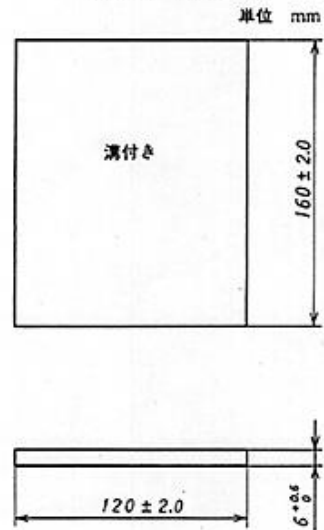
(18.1) 5形50・9形50・10形50・F1形50用



(18.2) 5形60・9形60・F1形60用



(18.3) 10形40用



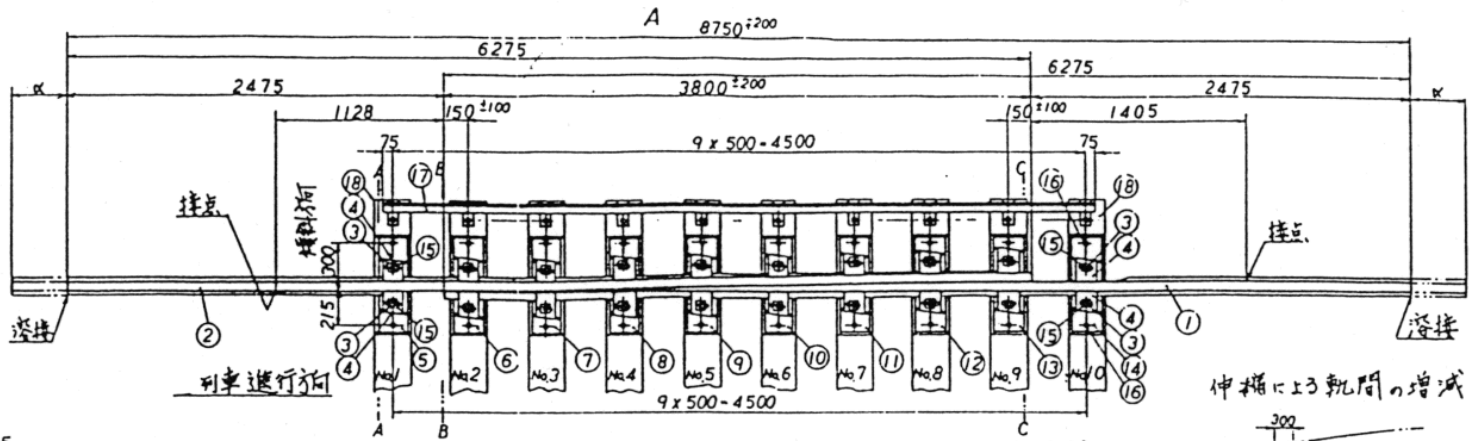
(18.4) 102形7用



主な調達希望物品 【 施設用品 】

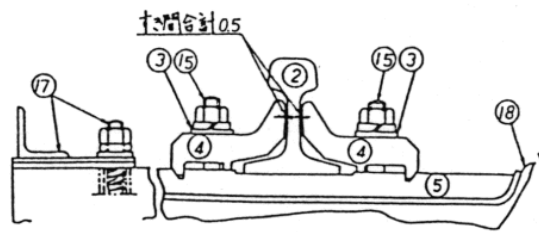
伸縮継目 物品コード：02601・02605 | 品形数 245 | 契約種別：確定契約

用途・種別・目的	<p>ロングレール区間の両端に設置されているレールの伸縮を処理するためのトングレールと受けレールからなる継目のことである。</p> <p>※ロングレール：1本のレールの長さが200mを越えるレールのこと。 ※レールの伸縮：温度変化によるレールの伸縮のこと。</p>			
種類	伸縮継目には、直線用（A・B）左曲線用（C・D）右曲線用（E・F）の3種類がある。			
	伸縮継目（A）	G T 11701 A～F	50N	木マクラギ用
		G T 11741 A～F	50N	コンクリートマクラギ用
		G T 11725 A～F	60	木マクラギ用
		G T 11747 A～F	60	コンクリートマクラギ用
仕様	分岐器類標準設計図集	3	(新幹線用分岐器類)	
	分岐器類標準設計図集	5	(60レール用普通分岐器類)	
	分岐器類標準設計図集	1 1	[伸縮継目・改良乗越分岐器類等]	
	分岐器類標準設計図集	1 2	[50N・60レール在来線用・新幹線用分岐器類他]	
	分岐器類標準設計図集	1 3	[50N・60レール在来線用・新幹線用分岐器類他]	
	以上による。			
納入条件	資材センター納め			
物品概要図	詳細はこちら			

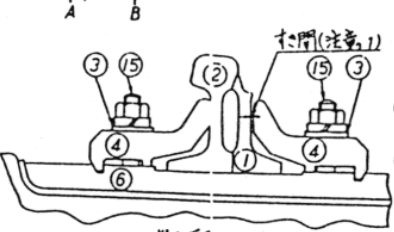


B 図の寸法
No.14 と対称

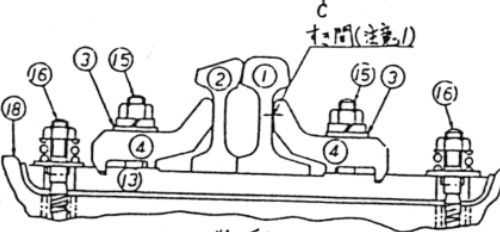
伸縮による軌間の増減



断面 A-A



断面 B-B



断面 C-C

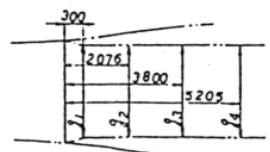


表-1

トングレールの移動	軌間の増減			
移動	0	0.2	0.2	0
+100	-0.5	-1.0	-0.5	0
+75	0	0	0	0
0	+1.4	+3.0	+1.3	0
-100	+3.4	+6.9	+3.0	0

トングレールの移動の符号は No.2 締付中心とトングレール先端の間隔の成る方向に + 増減の方向に - とする。

A および B 材料表

序号	参照図面		名称	寸法	材質	数量	備考
	図面番号	符号					
1	GT11729	1, 2	トングレール	6275+α		1	60L-ル
2	GT11730	1, 2	伸縮レール	6275+α		1	60L-ル
3	GT11743	3	座金	φ55 x 6	SS41 SC46	20	
4	GT11748	3, 4	レールプレス		2nd SS41	20	
5	-	1-a, 2-a	床板	200 x 32 x 6/3	SS41	1	
6	-	1-11, 2-11	-	-	-	1	
7	-	1-3, 2-3	-	-	-	1	
8	-	1-2, 2-2	-	-	-	1	
9	-	1-a, 2-a	-	-	-	1	
10	-	1-a, 2-a	-	-	-	1	
11	-	1-a, 2-a	-	-	-	1	
12	-	1-c, 2-c	-	-	-	1	
13	-	1-11, 2-11	-	-	-	1	
14	-	1-2, 2-2	-	-	-	1	
15	D10012	6	ボルト	b-55 24 x 130	SCR440	20	φ77-トングレール
16	GT11749	a	締付装置			10	
17	-	b	ワッシャー	L50 x 50 x 6 x 650		1	
18	GT11746		PC ワッシャー	270 x 214 x 2200		10	AB-1 対称 2枚

敷設使用上の注意

- トングレールの側部レールプレスで押える設計であるので符号④のレールプレスはトングレールの伸縮に必要な圧力と同等の力での設計にて符号⑤のボルトを強く締付けること。上記寸法とはストロークが 0 の時を示しその値は下記表-2 表-2 に示す。
- この伸縮装置は図に示す列車進行方向にのみ動作すること。
- 敷設使用後軌間の歪みや変位の場合は床板はそのまゝにして符号④のレールプレスを移動することにより軌間を調整することになる。
- 床板は軌間線に対して直所に敷設すること。
- トングレールと伸縮レールは必ず同時に交換すること。

表-2

寸法 No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
寸法	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	

2. この伸縮装置は図に示す列車進行方向にのみ動作すること。
3. 敷設使用後軌間の歪みや変位の場合は床板はそのまゝにして符号④のレールプレスを移動することにより軌間を調整することになる。
4. 床板は軌間線に対して直所に敷設すること。
5. トングレールと伸縮レールは必ず同時に交換すること。

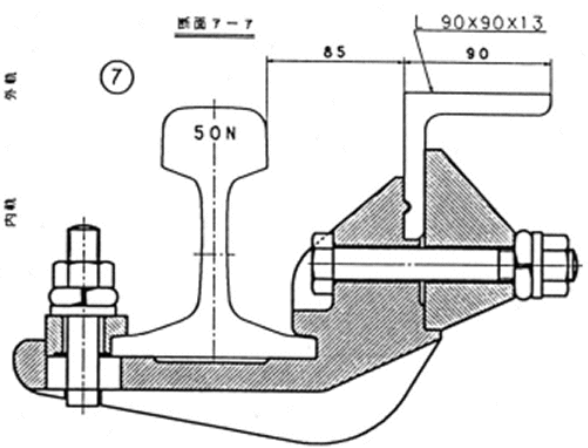
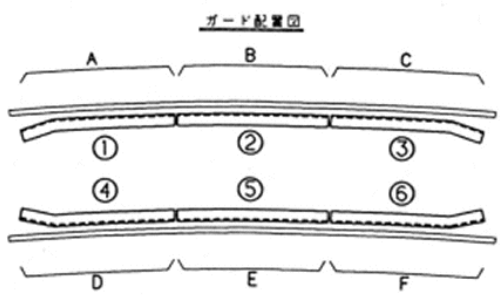
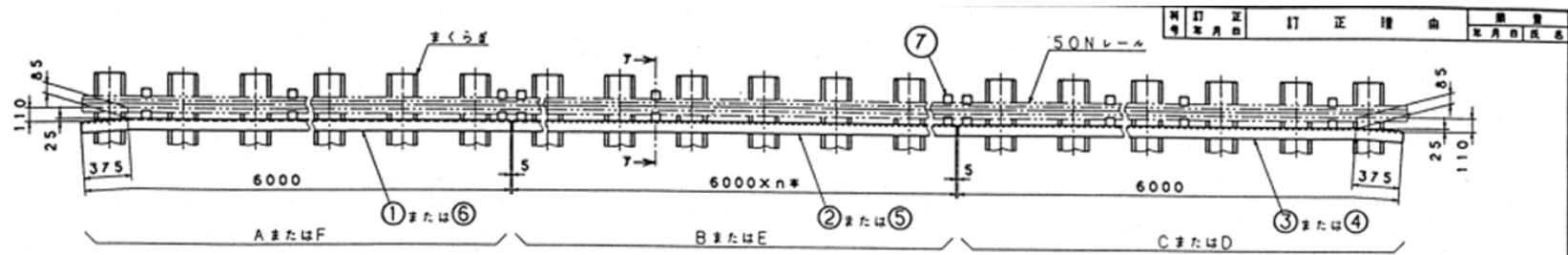
備考 1. α は補修用に限って適用し α = 1200 とする。

名称	伸縮装置
種別	道床用 (60L-ル用)
図面番号	GT11747 2枚の図 1枚
西武旅客鉄道株式会社	

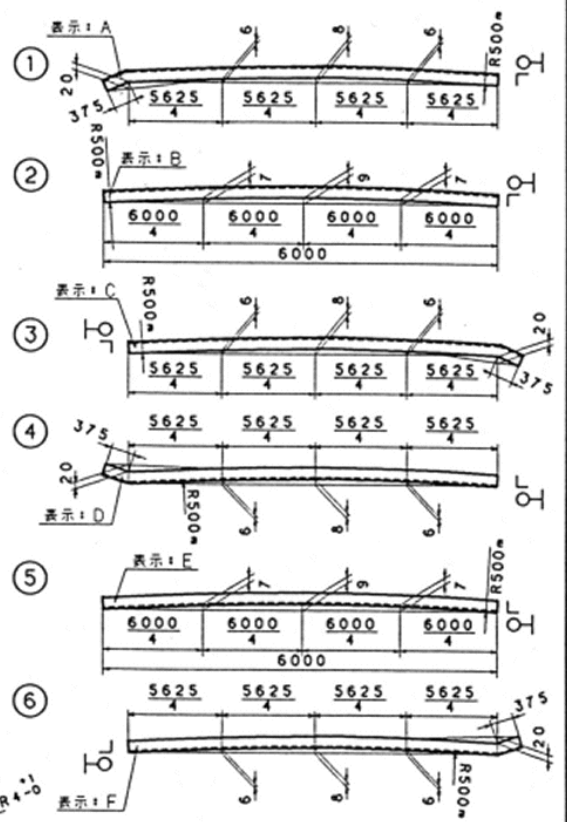
主な調達希望物品 【 施設用品 】

脱線防止ガード（B） 物品コード：02702 | 品形数 39 | 契約種別：確定契約

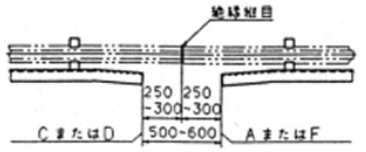
用途・種別・目的	<p>貨物列車の途中脱線を防止する目的で、急曲線区間・こう配と曲線の競合区間・併行区間及び立体交差箇所、両側の本線レールの内側に設置するものであり、以下の2種類がある。</p> <p>脱線防止ガード（A） 木マクラギ区間用 脱線防止ガード（B） コンクリートマクラギ区間用</p>
種類	<p>脱線防止ガード（A） GTG 8A～8F 木マクラギ50PS区間用 GTG 9A～9F 木マクラギ60区間</p> <p>脱線防止ガード（B） GTG 5A～5F PCマクラギ50N区間用 GTG 7A～7F PCマクラギ60区間用</p> <p>※ A～Fは、概要図の取付け位置図による。</p>
仕様	軌道用品類標準設計図表（2） [軌道用品類（締結装置類を除く）] による。
納入条件	資材センター納め
物品概要図	詳細はこちら



表示の大きさは約38mm角
表示は左端上面に白ペイントで表示すること。

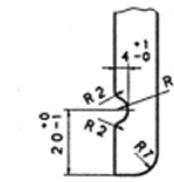


- 敷設に対する注意(参考)
1. まくらぎ部に取付装置を原則として一箇所おきにまくらぎに片番らせて取付けること。
 2. ガード材には、必ず取付装置を取付けること。ただし、CまたはDおよびAまたはFは導入部(端から375mm)を外したところに取付けること。
 3. ボルトの締付トルクは、1500kg-cmで行うこと。
 4. 絶縁板設置時は、下図の用に敷設すること。



5. ガード材の遊隙は、5mmで設定すること。
6. ガード材はR500mmで曲けてあるが、敷設曲線に応じて曲げ直すこと。

番号	品名	材質	数量	記号	備考
1	A ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000	
7	A 取付装置		6	GTGD-4	
2	B ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000	
7	B 取付装置		6	GTGD-4	
3	C ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000	
7	C 取付装置		6	GTGD-4	
4	D ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000	
7	D 取付装置		6	GTGD-4	
5	E ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000	
7	E 取付装置		6	GTGD-4	
6	F ガード材	SS400	1	L90x90x13x6000	
7	F 取付装置		6	GTGD-4	



ガード材の溝の形状
(ガード材の全長にわたって取付けること)

名	脱線防止ガード GTG-5	
種	PCまくらぎ SONレール用	
規	脱線防止ガード	JRSW 02701-
別	2枚の内1枚	01AW-01-1997
西日本旅客鉄道株式会社		平成9年3月18日

主な調達希望物品 【 施設用品 】

アンチクリーパ 物品コード：02801 | 品形数 18 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	レールはマクラギ上に締結装置により強固に締結されているのが原則であるが、敷設状態等により、ふく進に対して十分な抵抗力がない場合には、レールはマクラギ上をふく進する。アンチクリーパは、このふく進を防止する目的でレールがマクラギ上を滑動しないように十分な抵抗力を持たせるために取付けられる。		
種類	・37B形	・60B形	・50NB形パッド付2形
	・50B形	・50N形 本体のみ	・60B形 パッド付3形
	・40NB形	・50B形 パッド付2形	・60B形 パッド付4形
	・50NB形	・50NB形 パッド3形	・60B形 パッド付2形 幹
仕様	日本工業規格 アンチクリーパ E1111		
納入条件	資材センター納め		

主な調達希望物品 【 施設用品 】

橋マクラギ (A) 物品コード : 03102 | 品形数 16 | 契約種別 : 単価表契約

用途・種別・目的	<p>木マクラギは、コンクリートマクラギに比べて、驕性に富み、レール締結が簡単で、取扱いや加工が容易であり、電気絶縁性も高く、価格も低廉である。しかし、割れ、損傷、腐朽などを起こし、寿命が短いという欠点をもっている。橋マクラギ (A) は、無道床橋りょう上に用いられるもので、一般区間に比して負担が大きく、従って断面も大きくなっている。</p> <p>※ (A) とは、素材マクラギのことである。</p>	
種類	橋マクラギ (A)	
	・ 素材 210×20×18	・ 素材 240×20×23
	・ 素材 210×20×20	・ 素材 270×20×30
	・ 素材 240×20×18	・ 素材 210×20×30
	・ 素材 240×20×20	素材としては、カプール、米ヒバ を中心に使用している。
	・ 素材 270×20×18	
	・ 素材 270×20×20	
仕様	旧 J R S 木マクラギ03100-1H-13AR2Bによる。	
納入条件	現場納め	
物品概要図		

主な調達希望物品 【 施設用品 】

PCマクラギ 物品コード：03201 | 品形数 106 | 契約種別：確定/単価表契約

用途・種別・目的	レールの下に取付けられた直接レールを支え、軌道を一定に保持し、レールから伝わる列車荷重を広く道床以下に分布させる。
種類	製作方法により、プレテンション方式とポステンション方式の二種類がある。また、使用基準により直線用と曲線用、在来線用、新幹線用に分類することができ、保守費用の低減を目的とした有道床弾性マクラギや環境対策的とした勘合形その他継目用やケーブル防護用などがある。
仕様	プレテンション式 JRSW仕様03201-01AJ-01-1997 ポステンション式 JRSW仕様03201-02AJ-01-1997
納入条件	現場納め

主な調達希望物品 【 施設用品 】

ガードレール 物品コード：04619～04622 | 品形数 562 | 契約種別：確定契約

用途・種別・目的	<p>ガードはレールに平行して設ける車輪誘導装置のことで、一般には分岐器内のクロッシングに用いるガードをいう。ガードは、クロッシングの軌間欠線部を車両が通過するとき、車輪の異線進入を防ぐこと及びクロッシングの側面摩耗の防止を目的としている。</p> <p>※ ガードレールはガードを構成している一部分である。</p>
種類	<p>ガードレールには以下の4種類があります。</p> <p>A形 主レールと同種レールを曲げ加工して製作。(30K 37K 50PS)</p> <p>C形 主レールと同種レールを切削加工して製作。(40N 50N)</p> <p>F形 機械構造用鋼材を溶接・切削加工して製作。(シーサスクロッシング)</p> <p>H形 主レールと同種レールを切削加工して製作。底板に取付け金具を溶接してガードレールを取付けている。(50N高速用 60k用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30ガードレール ・ 37ガードレール ・ 50ガードレール ・ 40Nガードレール(A) ・ 40Nガードレール(B) ・ 50Nガードレール(A) ・ 50Nガードレール(B) ・ 60ガードレール
仕様	<p>参考 鉄道用分岐器類のガード 形状及び寸法は日本工業規格E 1 3 0 7に記載あり。</p>
納入条件	<p>納入条件 資材センター納め</p>

主な調達希望物品 【 施設用品 】

フックボルト 物品コード : 07113 | 品形数 1,113 | 契約種別 : 確定/単価表契約

用途・種別・目的	フックボルトは、橋マクラギを橋ケタに定着させるために用いるもので、通常、橋マクラギの両端に敷設されている。
種類	ガードレールには以下の4種類があります。 通常 φ22mmとφ25mmのボルト（SS400）で長さは各種ある。近年、ナット部分はハードロックが主流となっている。
仕様	軌道用品類標準設計図書(2) 軌道用品（締結装置類を除く）]による。
納入条件	現場納め
物品概要図	